

本時の学習 近世の日本 産業の発達と幕府政治の動き 「天保のききん」(7/7)

(1) 本時の到達目標 天保のころの社会の様子について、資料を読み取ったり結び付けたりして、理解できる。

(2) 学習過程

過程	学 習 活 動	時間	資料等	教師の指導・支援と評価
つかむ 個 一斉	1. 荒川先生を紹介し、「江戸時代の10人」の暗唱活動を行う。 2. 資料A「土地の古老の言い伝え」を読んで、わかったこと、疑問に思ったことを発表する。 3. 学習課題を確認する	5 10 3	TV会議 カード 資料A 「文章資料」	・ ----- 予想される生徒の反応 ----- ・川に死体が浮いている。 ・天保年間のことの話だ。 ・なぜいくつもの死体があったのだろう？
学習課題：天保のころの社会の様子について、資料から読み取って考えよう。				
さぐる 個 小集団	4. 資料B「米の 収穫高 と 収穫率 」を読み取って、グループで分かったことを発表する。 ----- 指示：読み取り方で分からないことがあったら、多賀谷先生と荒川先生に聞きに行きなさい。 ----- 5. 資料Aと資料Bを結び付けて予想できることを発表する。 6. 資料C「百姓一揆と打ちこわしの件数」と資料D「大塩平八郎の手配書」を読み取って、分かったことを発表する。 ----- 発問：天保のききんはグラフの中のどのあたりでしょう。	12 5 7	資料B 「表」 TV会議 資料C 「グラフ」 資料D 「手配書」	・個人で考える時間をとってから、小集団での話し合いに入る。 ----- 予想される生徒の反応 ----- ・ 収穫高 と 収穫率 ってなんだ？ ・お米がほとんどとれない年が続いている。 ・天保5年は普通にとれた？！ ----- 予想される生徒の反応 ----- ・お米がとれなくて、飢え死にする人がたくさんいたのだと思う。 ・天保のききんだ。 ----- 予想される生徒の反応 ----- ・天保のききんのころは、百姓一揆や打ちこわしが、幕末について多かったときだ。 ・この手配書は大塩平八郎のことだ。
ひろげる 一斉	7. 能代の「天保のききん」と「打ちこわし」について紹介する。	8	TV会議	・能代の「天保のききん」と「打ちこわし」について、荒川先生(TV)が説明する。